学校だより

令和4年：4月号

～あったかハートでふれあおう！みーんな友だち 元気いっぱい 夢いっぱい～

横浜市立山内小学校
校長　佐藤　正淳

１年のスタートにあったって　～あったかハートの先に～

色…。今、山内小学校はどんな色をしているのだろうか？ 新たな１年のスタートラインに立った子どもたちの心は何色だろうか？　校庭にはパンジー、チューリップ、菜の花などが明るくカラフルに咲いています。子どもたちの心は真っ白なキャンバスでしょうか。新入生 122 人を迎え、全校児童 716 人。山内小らしく、カラフルな令和４年度のスタートです。

さて、今年も多くの職員が山内小学校から異動となりました。学校の中心となって活躍した職員、誰に対しても本当に優しく寄り添った職員など素敵な職員ばかりでした。どの職員も、その「強み」を新たな環境でも発揮してくれると信じています。そして、新たに多くの職員を迎えました。軌道に乗るまでに少しお時間をいただくこともあろうかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

716人　男子 385人　女子 331人

1年 122人　2年 125人　3年 121人　4年 102人　5年 134人　6年 112人

「149（意欲）」と「モチベーション」

明治６年創立の山内小学校は、今年度で創立 149 年を迎えます。150 年の１年前ではありますが、勝手に語呂合わせをして、今年は「意欲（149）」の年と思っています!! さて、「意欲」と似たような言葉に「モチベーション」もありますが、この二つはどのような違いがあるのでしょうか。

“頑張りたいこと”が『意欲』。その源が『モチベーション』。

上の図に表したように、サッカーで言うなら「大会で優勝したい」がモチベーションであり「そのために練習を頑張る！」が意欲という関係になります。「意欲をもって、積極的に！」と言うのは簡単ですが、意欲を引き出すには、少し先の、ありたい自分を考えることが大切になります。「○○になりたい（モチベーション）、だから□□を頑張る（意欲）」。新しい学年のスタートだからこそ、子どもたち一人ひとりに「ありたい姿（モチベーションへ）」をイメージし、それに向けて力強い一歩を歩んでほしいものです。

創立 149 年、意欲の年。子どもたち一人ひとりのキャンバスには、どのような絵が描かれるのでしょうか。

「誰かのために動ける人（喜ばれる人）」に

山内小学校へ着任した 2019 年４月。入学式の前日準備に来ていた 6 年生に「山内小ってどんな学校？」とインタビューしました。その数 20 人程。ほとんど全員が口にしたのは「あったかハートな学校です！」。この３年間、このあったかハートの正体を探ってきました。そして、あったかハートをもって行動する子どもたちの姿をたくさん目撃してきました。その様相は多様です。時に態度であり、時に心遣いであり、時に言葉でもありました。カチッとした定義は無いのかもしれませんが、この「あったかハート」をみんなが大切にしてきています。そして気付きます。この「態度」「心遣い」「言葉」などは、全て誰かに向かっていることを…。誰かのために動けること、そしてその結果、人に喜ばれることって、人が生きる存在意義なのかもしれません。『サッカー大会で優勝したい！』そのために『毎日リフティングの練習をする（意欲）』　の先にある価値。『サッカー大会で優勝したい！』そして、『応援してくれている人を喜ばせたい！ 感動させたい！』をも見据える子どもたちになっていってほしいものです。

さあ、あったかハートの申し子たちの１年が始まります！ 皆さんのあったかサポートもお願いします！